

第18回 湿原再生小委員会

平成29年3月10日

目 次

1. 第23回釧路湿原自然再生協議会の概要について

2. 幌呂地区自然再生工事の土砂置場について

2-1. 幌呂地区湿原再生工事の概要

2-2. 土砂置場について

2-3. 土砂流出対策工の詳細について

1. 第23回釧路湿原 自然再生協議会の概要について

1. 第23回釧路湿原自然再生協議会の概要について

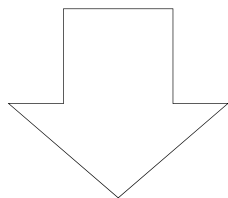
○第23回 釧路湿原自然再生協議会での提案

開催日：平成29年2月28日（火）

出席者：個人 14名・団体 18名・関係行政機関 7名 合計39名

委員提案：幌呂地区湿原再生工事の土砂置場について、緊急的に湿原再生小委員会の開催を要望する。

協議会提案



3月10日（金）：第18回湿原再生小委員会を開催する

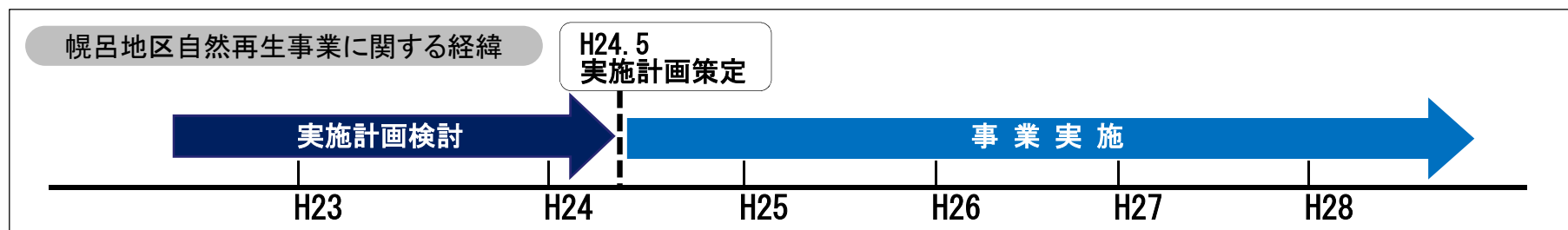
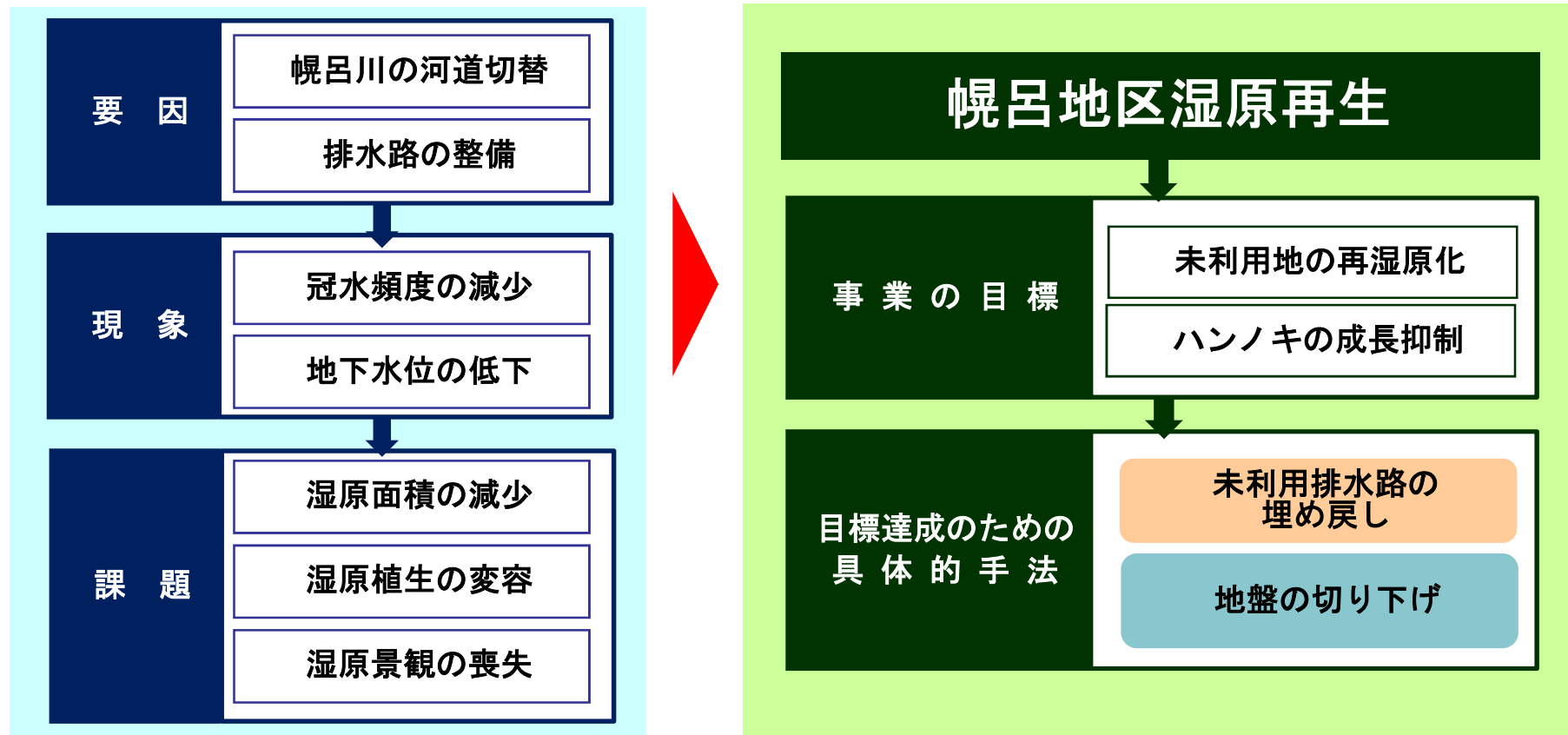
2. 幌呂地区自然再生工事の 土砂置場について

2-1. 幌呂地区湿原再生工事の概要

2-1. 幌呂地区湿原再生工事の概要(1/6)

出展：第17回湿原再生小委員会より

幌呂地区湿原再生では、未利用地の再湿原化とハンノキの成長抑制による湿原の再生を目指し、「未利用排水路の埋め戻し」と、「地盤の切り下げ」を行っている。



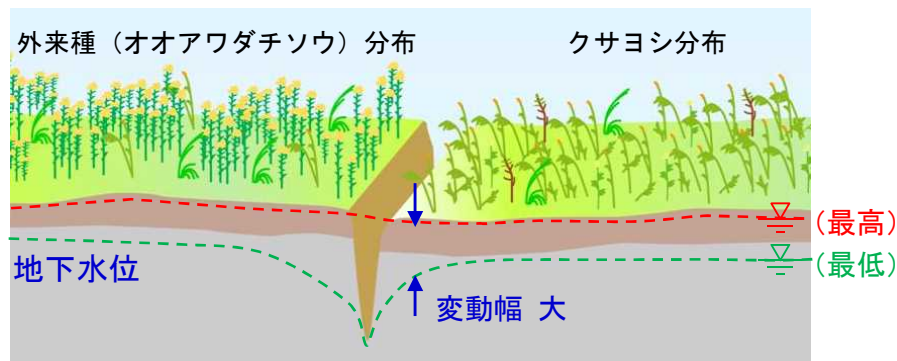
2-1. 幌呂地区湿原再生工事の概要 (2/6)

出展：第17回湿原再生小委員会より

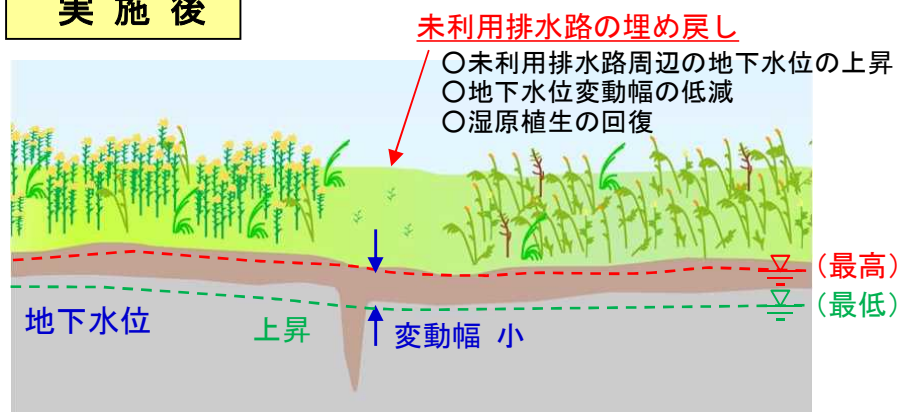
具体的手法のイメージ

未利用排水路の埋め戻し

実施前

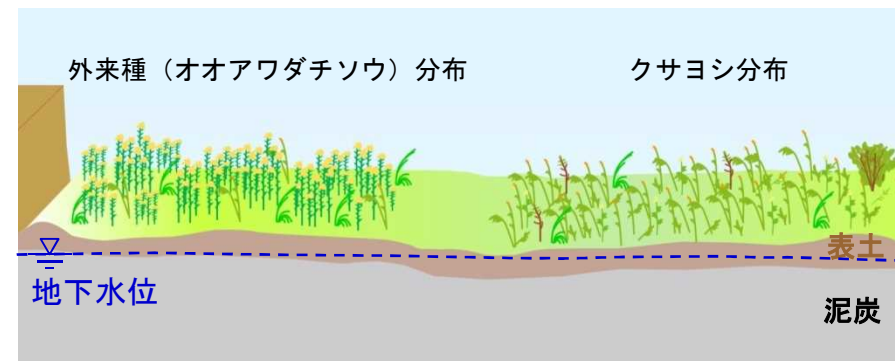


実施後

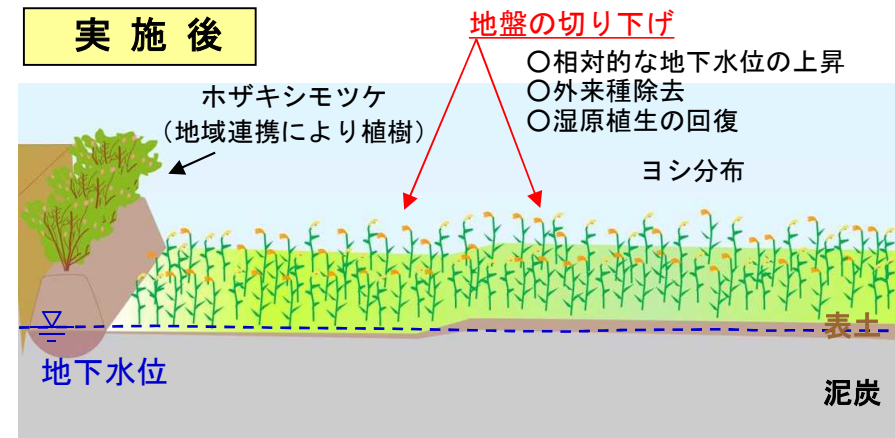


地盤の切り下げ

実施前

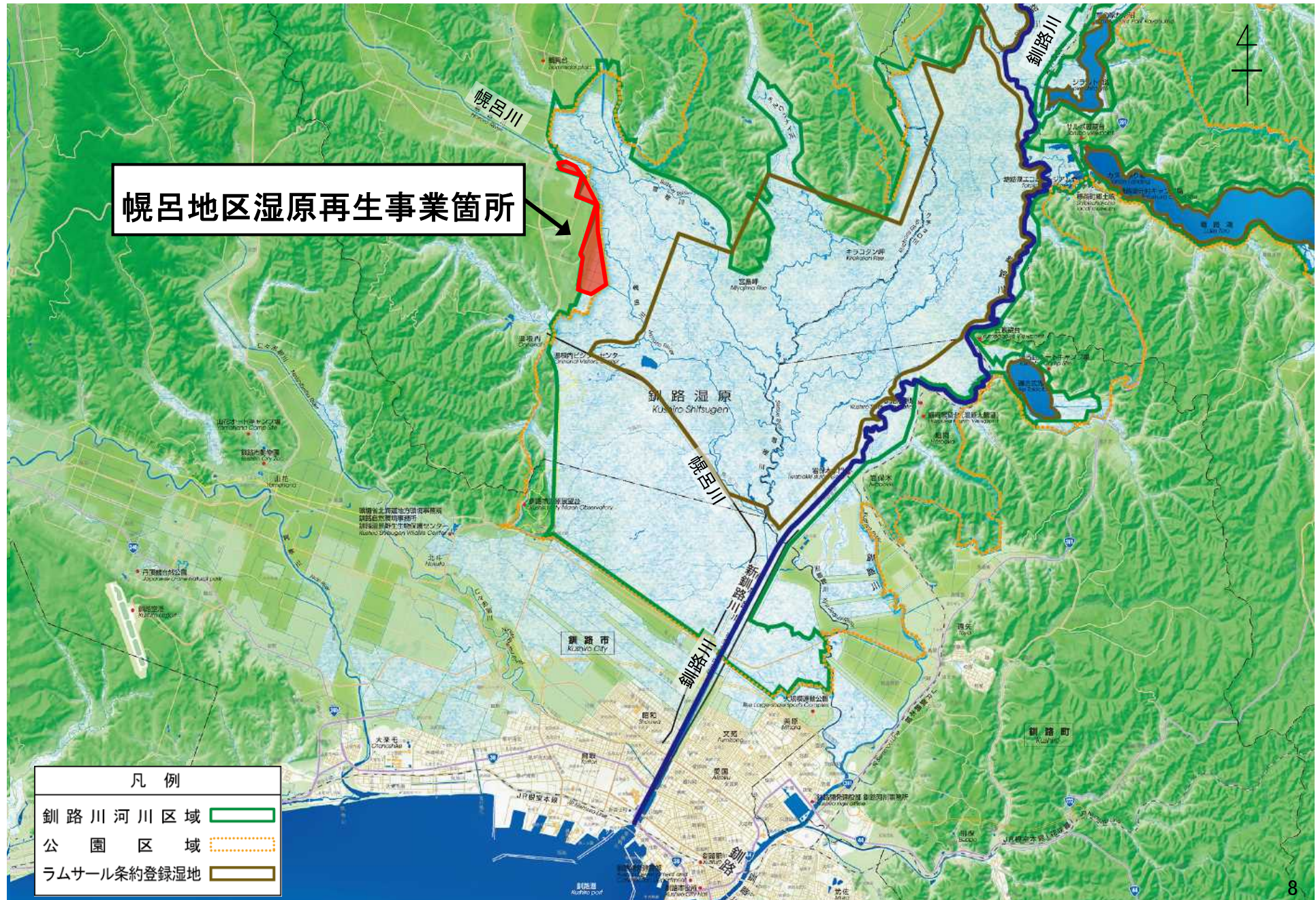


実施後



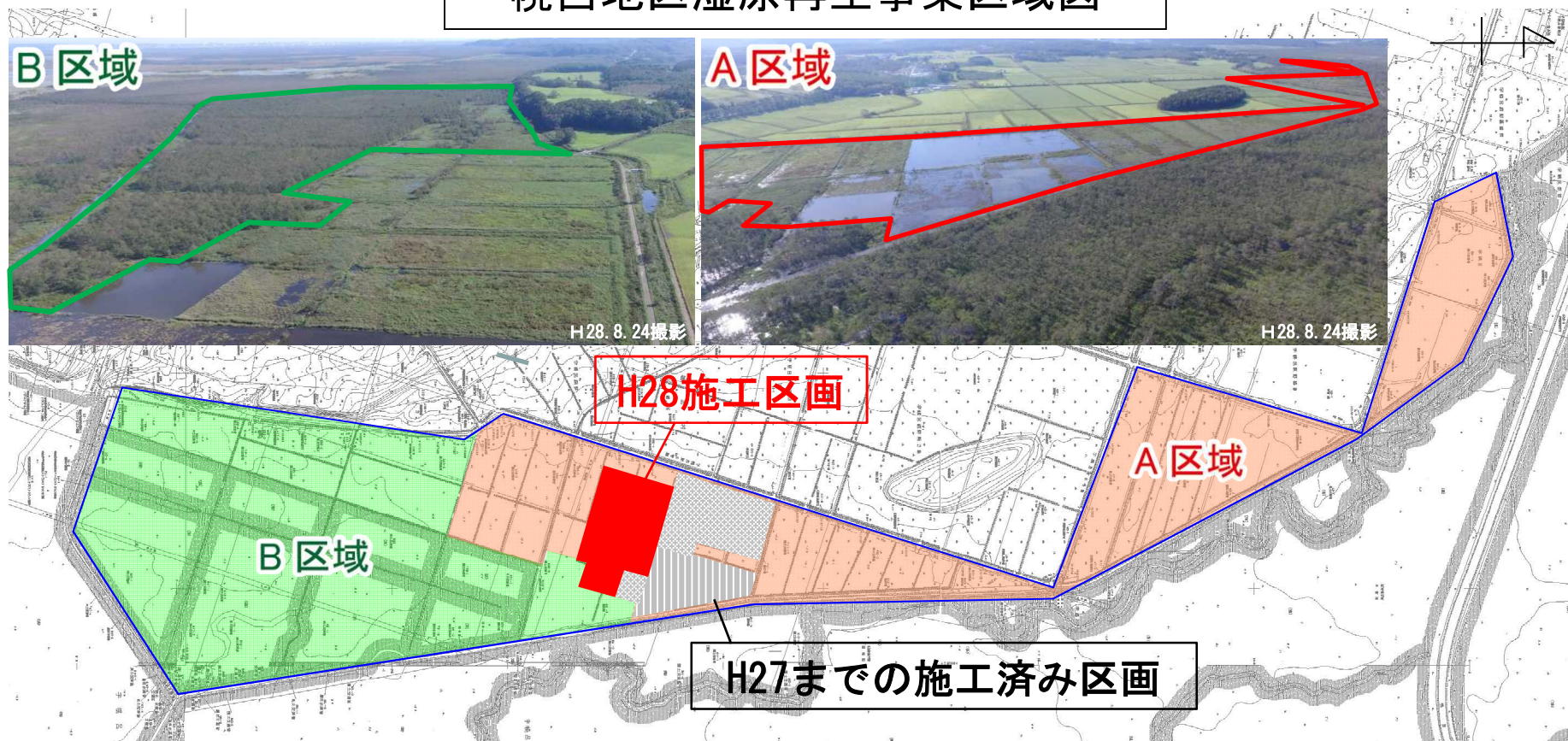
2-1. 幌呂地区湿原再生工事の概要 (3/6)

出展：第17回湿原再生小委員会より



2-1. 幌呂地区湿原再生工事の概要 (4/6)

幌呂地区湿原再生事業区域図

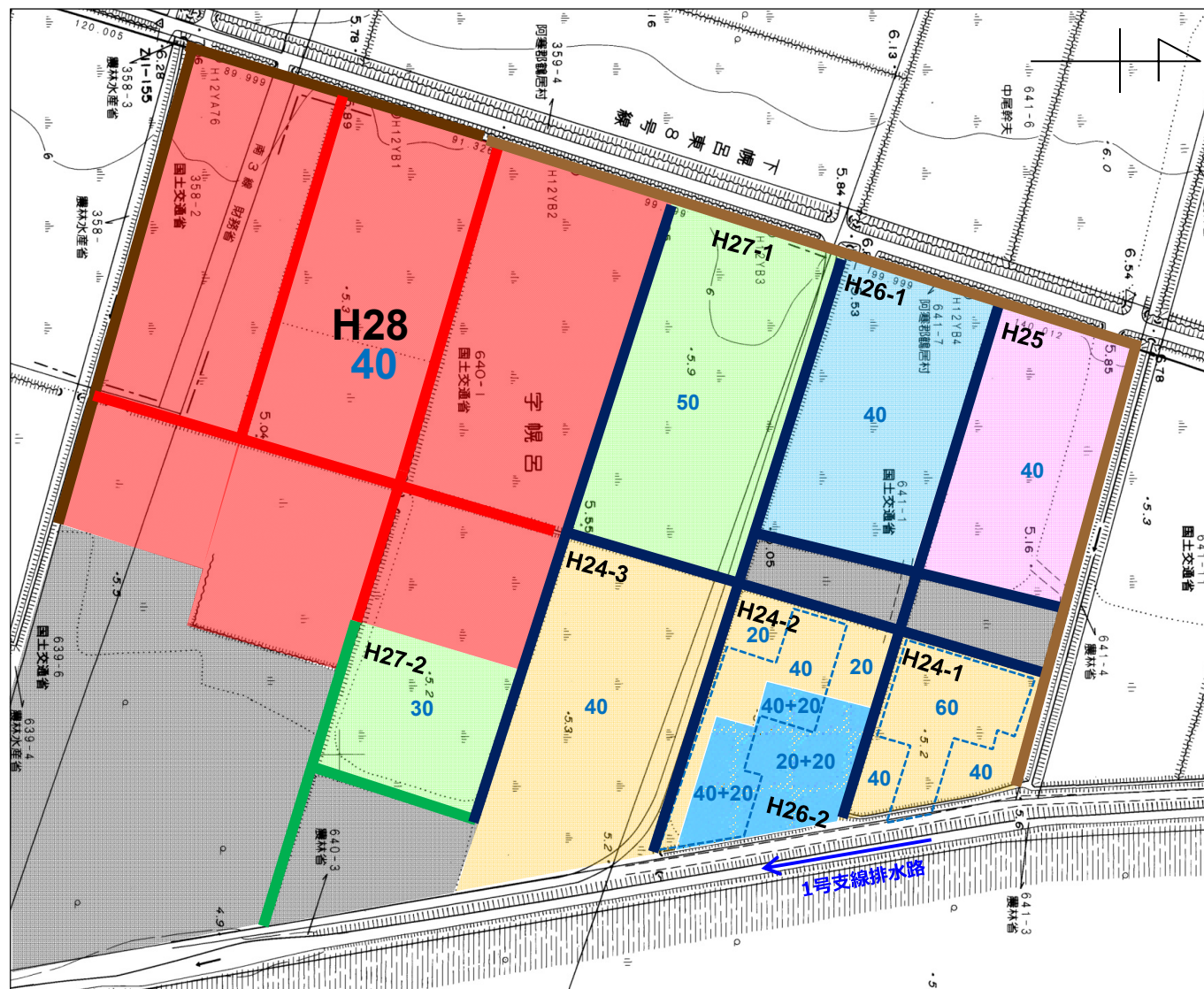


区 域	区域別の目標	具体的手法
A区域	未利用地の再湿原化 (湿原植生の再生、湿原面積の回復、湿原景観の復元)	・地盤切り下げ、 ・未利用排水路埋め戻し
B区域	ハンノキの成長抑制	・未利用排水路埋め戻し

2-1. 幌呂地区湿原再生工事の概要 (5/6)

出展：第17回湿原再生小委員会より

- ・ 既往の地下水調査結果および検討結果を踏まえ、切下げ深は0.4mとする。
- ・ 施工時には地下水位面や暗渠管理設状況を確認するため試掘を実施予定。



平成28年度実施概要
切下げ面積 A=5.0ha
切下げ深 H=0.40m



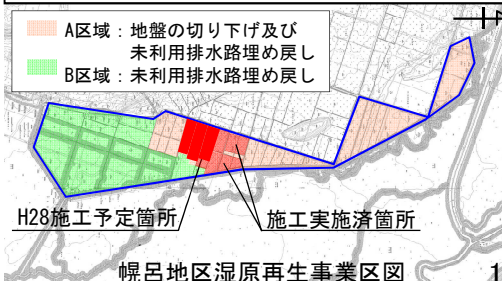
平成28年度施工箇所①



平成28年度施工箇所②

凡 例

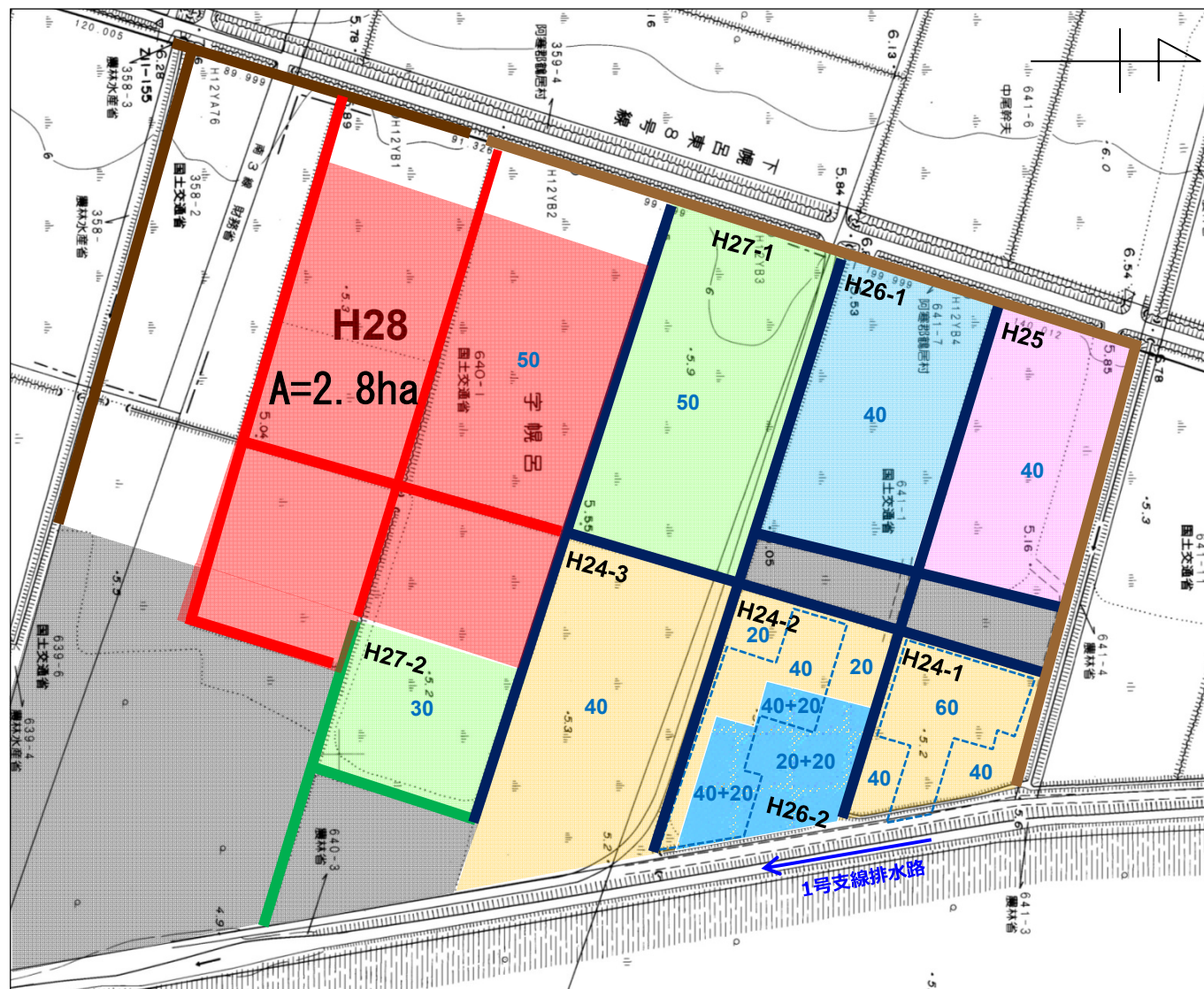
- H28年度地盤切り下げ予定箇所
- H27年度地盤切り下げ箇所
- H26年度地盤切り下げ箇所
- H25年度地盤切り下げ箇所
- H24年度地盤切り下げ箇所
- 地盤切り下げ不施工区間
- H28年度排水路埋め戻し予定箇所
- H27年度排水路埋め戻し箇所
- H24年度排水路埋め戻し箇所
- H27年度盛土箇所
- H24年度盛土箇所
- 青数字 切下げ深 (cm)



幌呂地区湿原再生事業区図

2-1. 幌呂地区湿原再生工事の概要 (6/6)

- ・ 既往の地下水調査結果および検討結果を踏まえ、切下げ深は0.5mとする。
- ・ 施工時には地下水位面や暗渠管理設状況を確認するため試掘を実施予定。



平成28年度実施概要
切下げ面積 A=2.8ha
切下げ深 H=0.50m



平成28年度施工箇所①

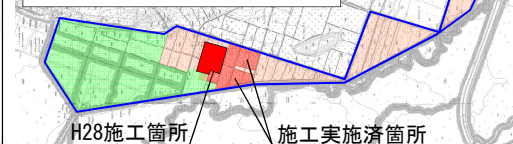


平成28年度施工箇所②

凡 例

- H28年度地盤切り下げ箇所
- H27年度地盤切り下げ箇所
- H26年度地盤切り下げ箇所
- H25年度地盤切り下げ箇所
- H24年度地盤切り下げ箇所
- 地盤切り下げ不施工区間
- H28年度排水路埋め戻し箇所
- H27年度排水路埋め戻し箇所
- H24年度排水路埋め戻し箇所
- H27年度盛土箇所
- H24年度盛土箇所
- 青数字 切下げ深 (cm)

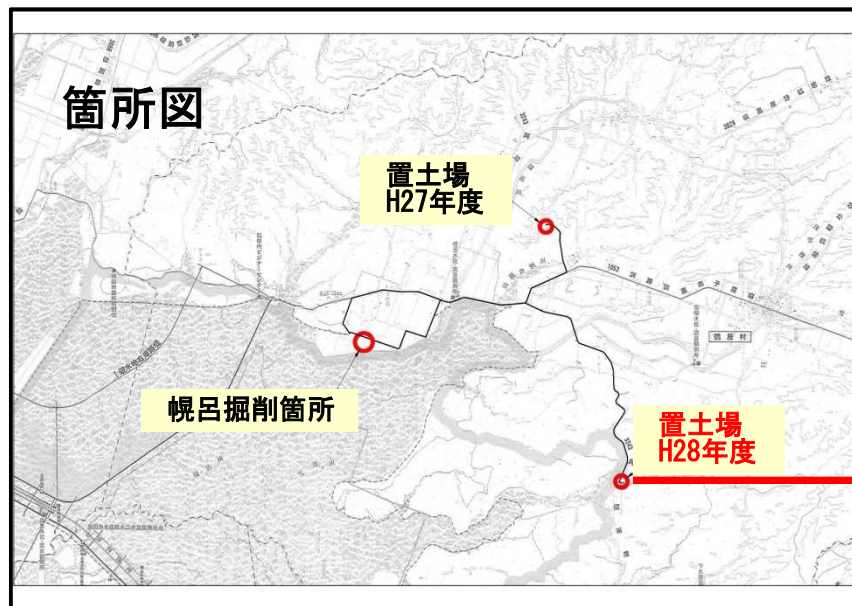
A区域：地盤の切り下げ及び
未利用排水路埋め戻し
B区域：未利用排水路埋め戻し



幌呂地区湿原再生事業区図

2-2. 土砂置場について

2-2. 土砂置場について



平成24年撮影

置土場

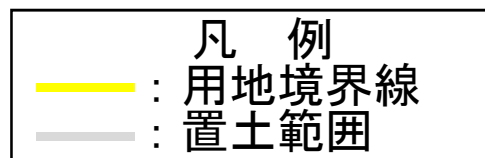
所有者 鶴居村

住所 鶴居村字雪裡

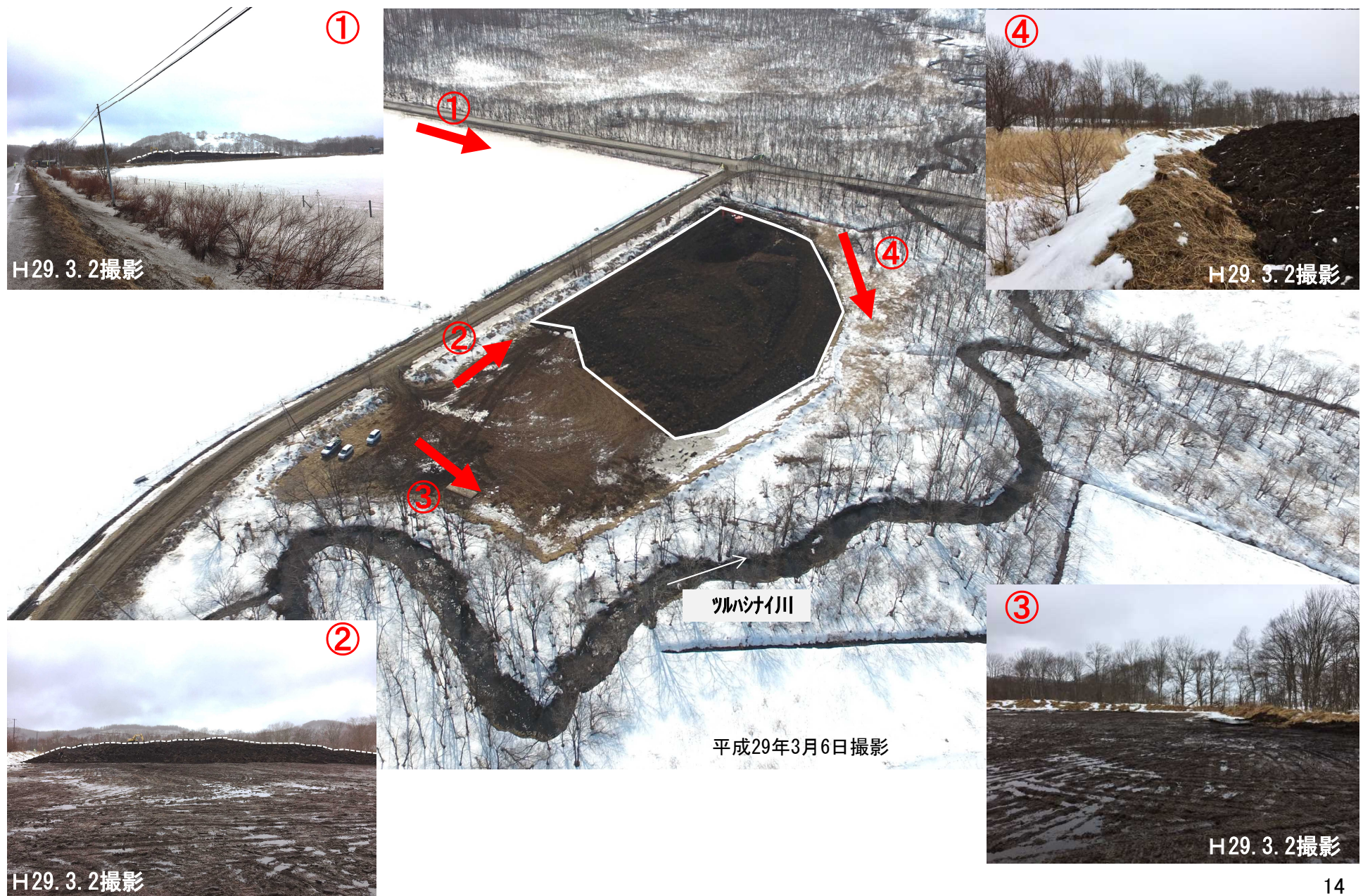
施設名 鶴居村ほくや営牧野

用途 放牧地

※現在は放牧していない。



2-2. 土砂置場について



2-2. 土砂置場について



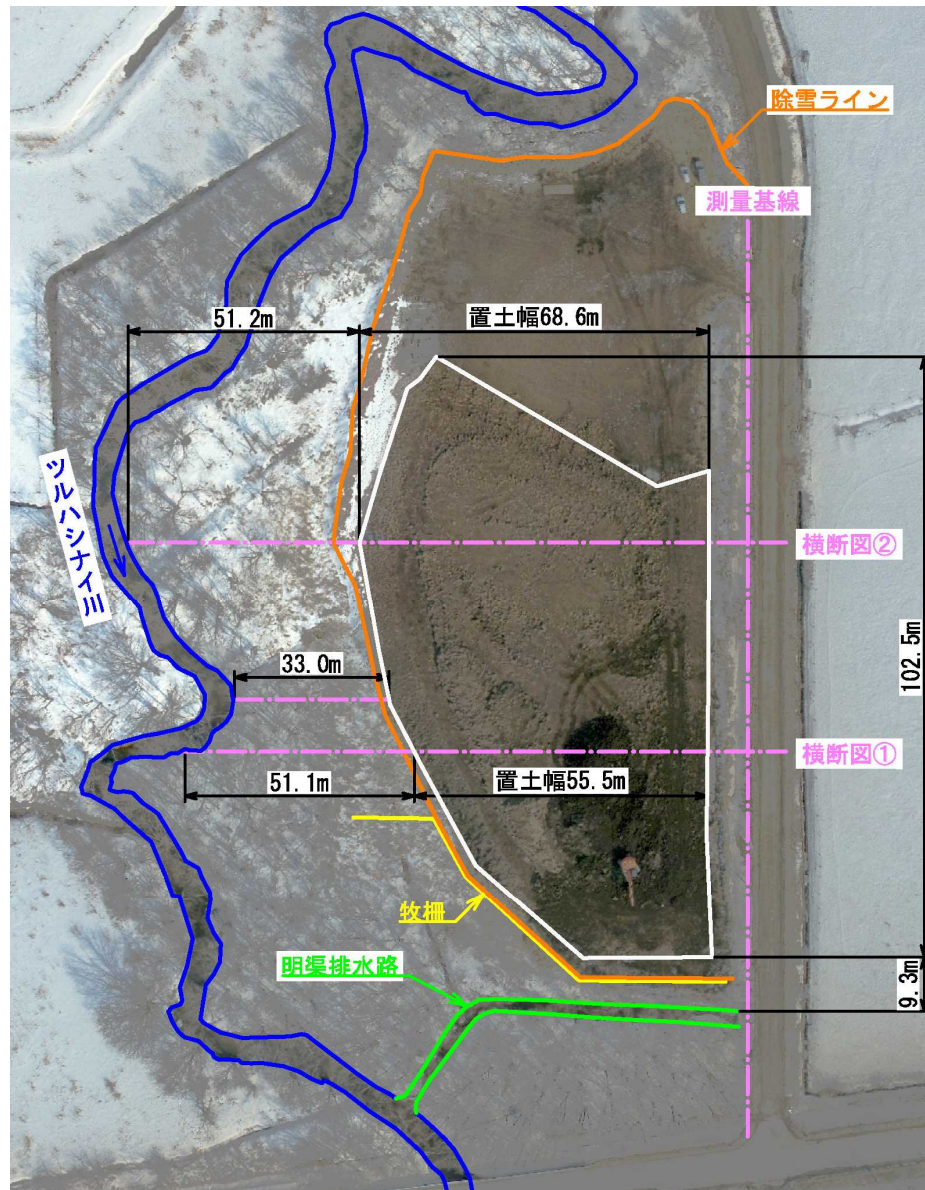
平成29年3月6日撮影

2-2. 土砂置場について



平成29年3月6日撮影

2-2. 土砂置場について



平成29年3月6日撮影

工事手順

- ・ 作業ヤードの除雪
- ・ 表土搬入（土砂成分の多い土を
中心部に置土）
- ・ 土砂の搬入（ツルハシナイ川か
ら30m以上離れた位置まで）
- ・ 法面整形
- ・ 土砂溜溝施工

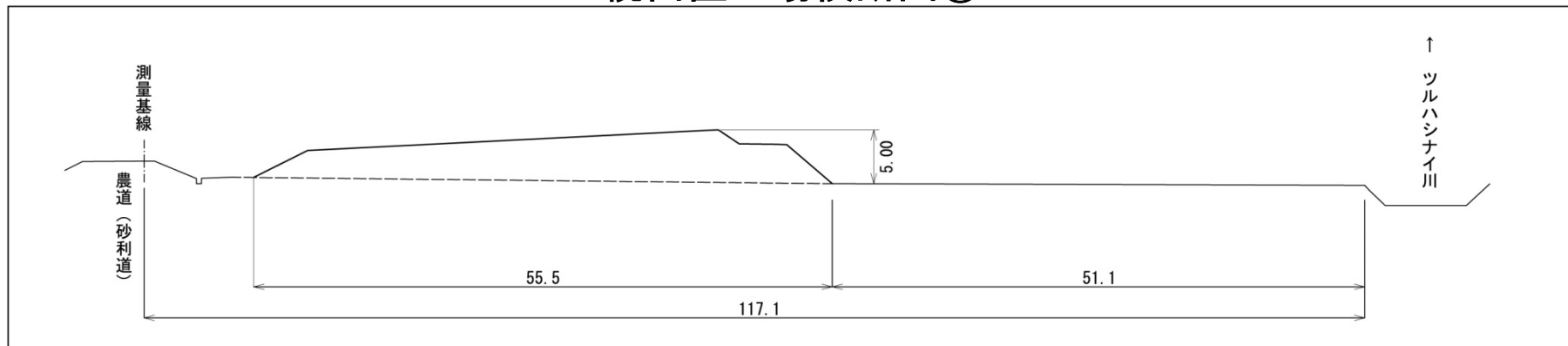
凡 例	
—	: 測量線
—	: 除雪範囲
—	: 置土範囲

2-2. 土砂置場について

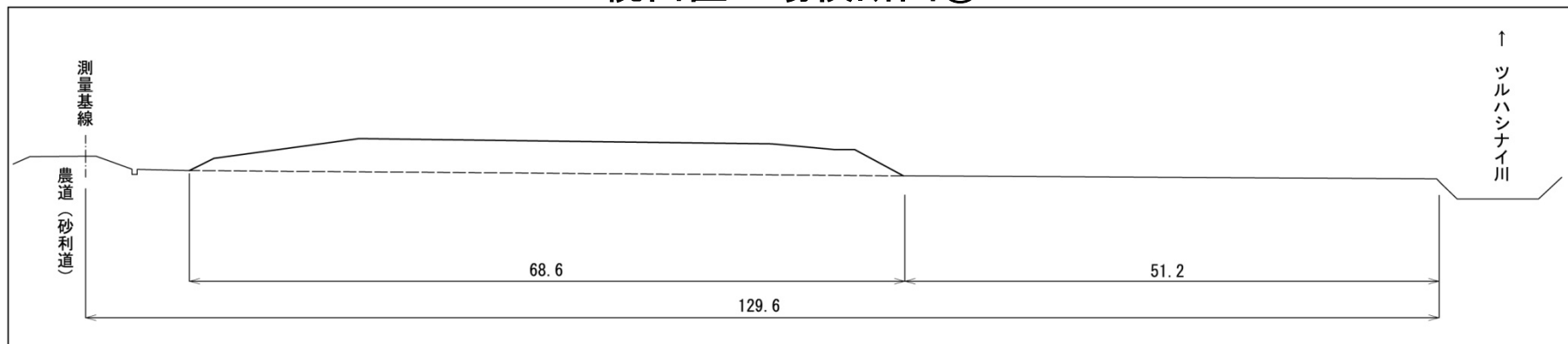
置土範囲の考え方

- ・ 置土は、ツルハシナイ川から30m以上離れた位置からとする。

幌呂置土場横断図①

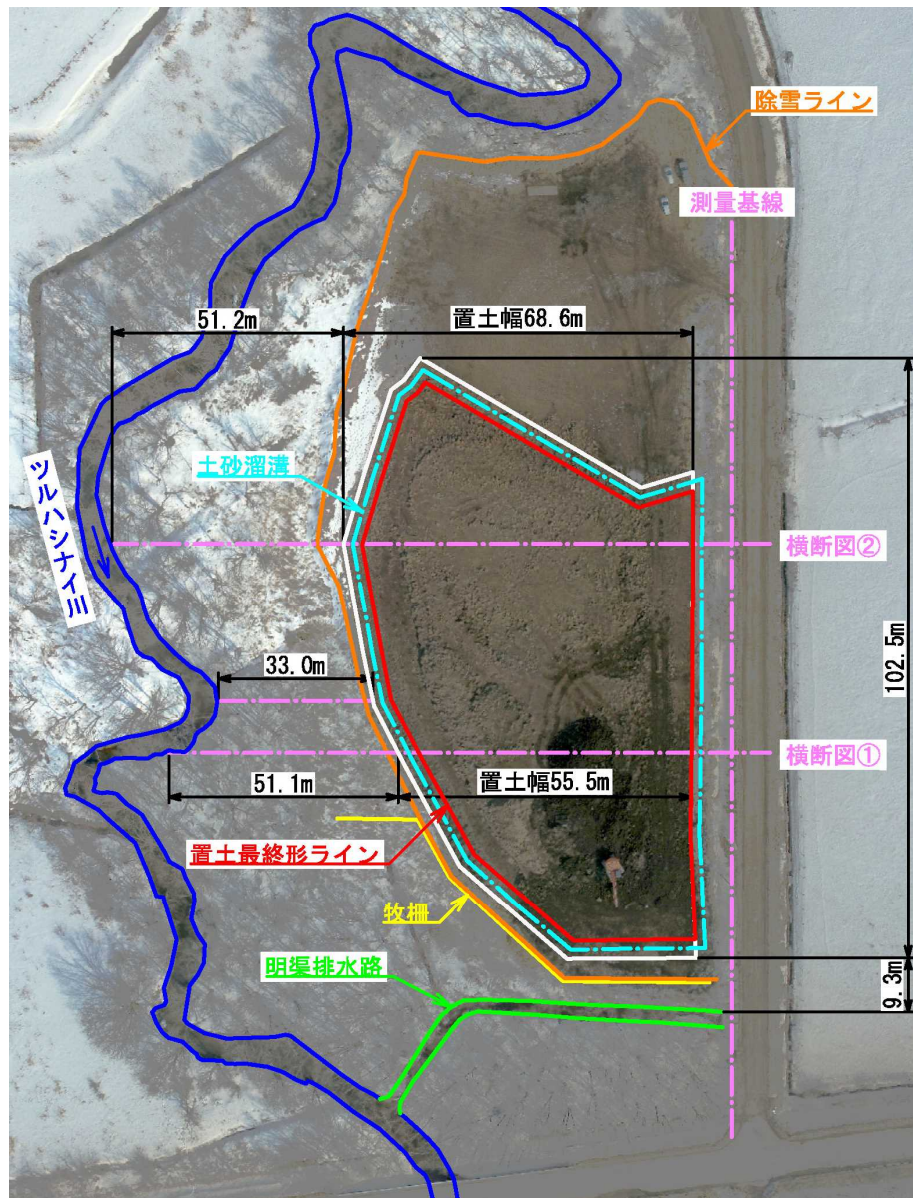


幌呂置土場横断図②



2-3. 土砂流出対策工の詳細について

2-3. 土砂流出対策工の詳細について



平成29年3月6日撮影

今後の作業

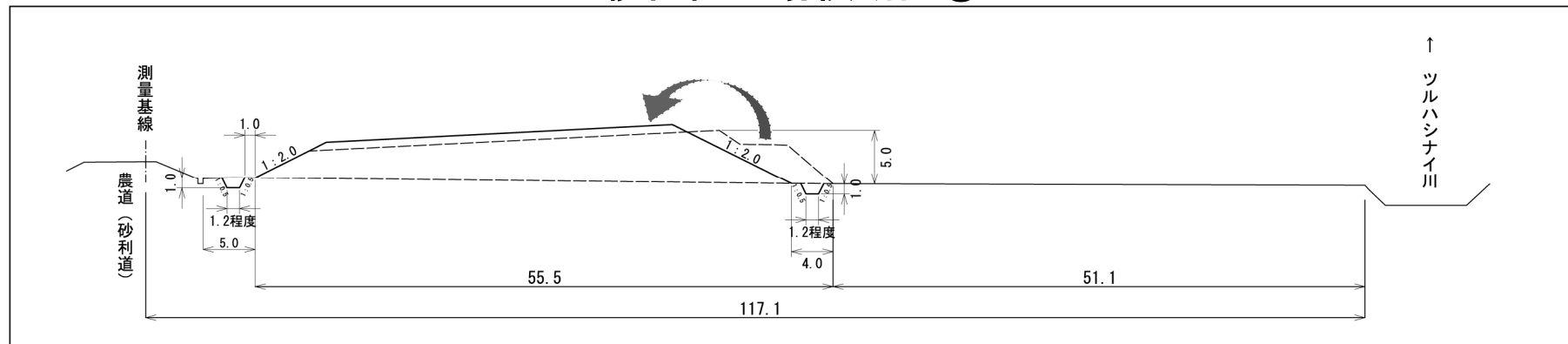
- ・ 融雪出水対策の土砂溜溝を施工するため、法尻から4～5mの範囲の土砂を撤去
- ・ 法面を2割に整形
- ・ 置土範囲を囲む土砂溜溝を掘削
(L=300m、B=1 m、H=1 m程度)

凡	例
—	測量線
—	除雪範囲
—	置き土範囲
—	土砂溜溝
—	置土法尻

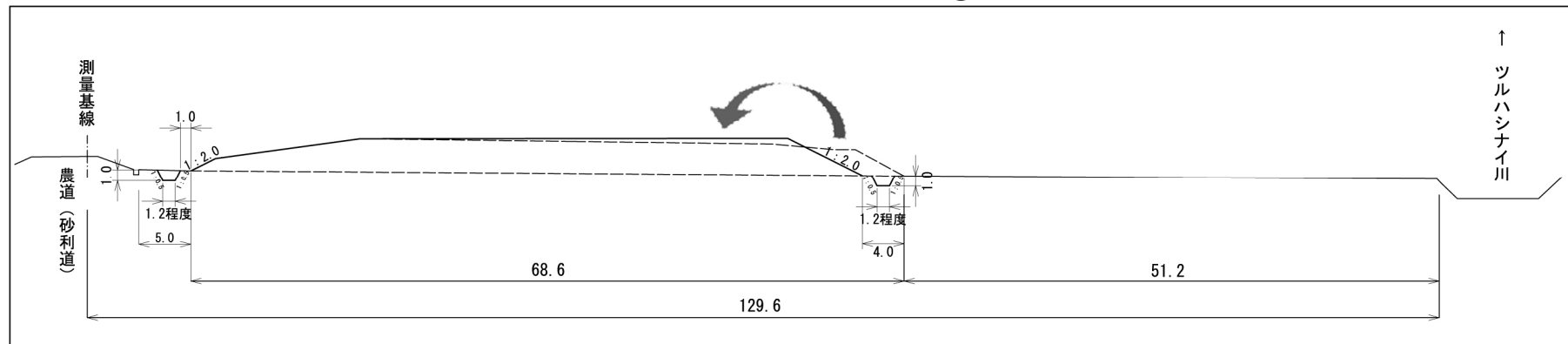
2-3. 土砂流出対策工の詳細について

- ・ 融雪出水対策の土砂溜溝を施工するため、
現況の置土法尻から幅 4 ～ 5 m の土砂を撤去、置土上部に敷き均す。
- ・ 法面を 2 割に整形
- ・ 置土範囲を囲む土砂溜溝を掘削（L=300m、B=1m、H=1m程度）

幌呂置土場横断図①



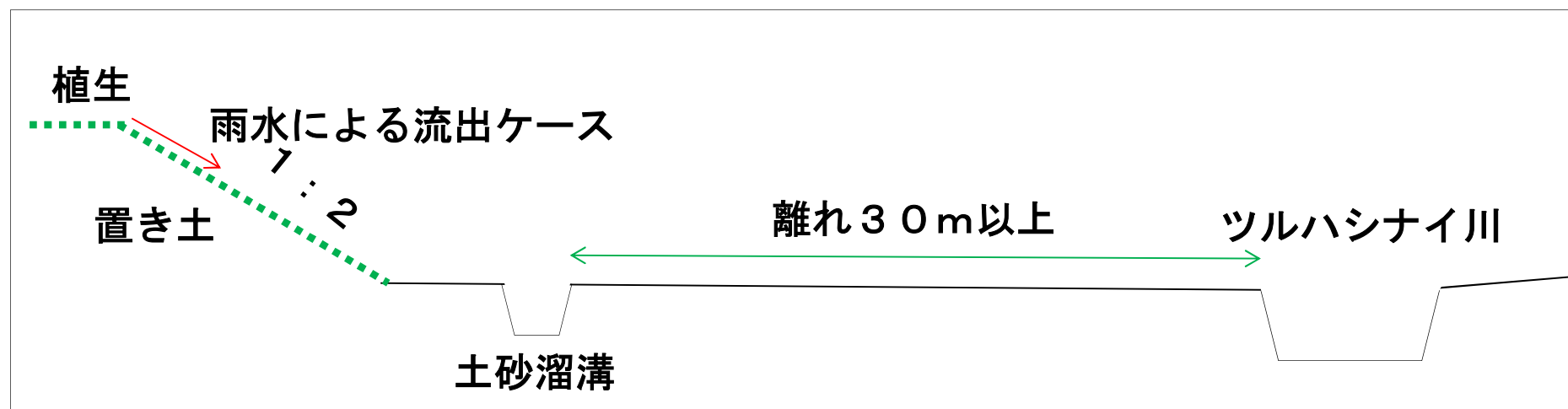
幌呂置土場横断図②



2-3. 土砂流出対策工の詳細について

土砂流出対策工の内容について

- ・ 土砂溜溝 : 置土箇所周囲に設置し、土砂が流出した際に沈降させ、流出を防止する。
L=300m, B= 1 m, H= 1 m 程度
- ・ 法面緩傾斜化 : 法面は、堤防と同じ土砂安定勾配として 1 : 2 とする。
- ・ 法面緑化 : H27年度までの置土地では、植生が回復していることから、自然回復を待つ。
植生不良の場合は、幌呂地区から表土を採取し法面に布設する。
- ・ ツルハシナイ川からの離れ
30 m以上の距離をとる。

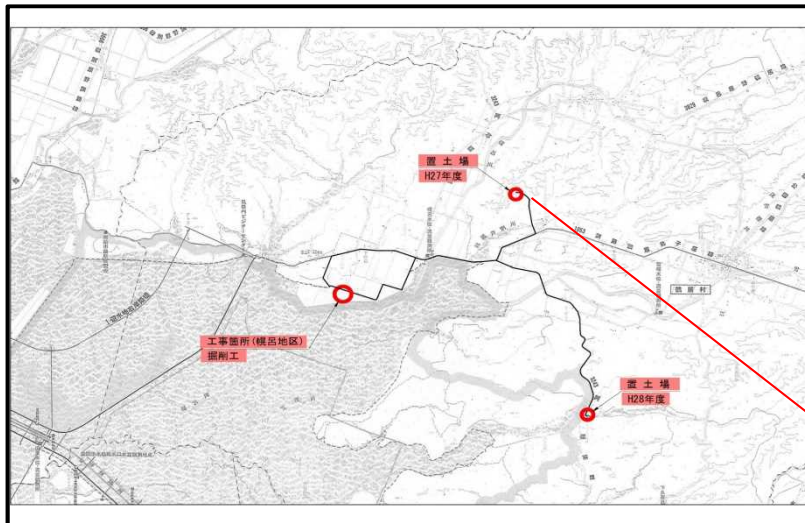


2-3. 土砂流出対策工の詳細について

過年度の置土場の状況について

- ・ 平地に土砂を置土
- ・ 置土場では、置土後のH27.3～11月の7か月間で植生が回復している
(下記の写真参照)

箇 所 図



H 2 6 年度の置土箇所の植生状況
(H27.11撮影)

